

様式第一（第五条第一項関係）

人工衛星等の打上げに係る許可申請書

年 月 日

内閣総理大臣 殿

(郵便番号)

住 所

氏 名

印

(法人にあつては、名称)

連 絡 先

下記のとおり、人工衛星等の打上げの許可を受けたいので、人工衛星等の打上げ及び人工衛星の管理に関する法律第4条第2項の規定により、申請します。

記

人工衛星の打上げ用ロケットの設計（別紙1）又は型式認定番号		
打上げ施設の場所、構造及び設備（別紙2）又は適合認定番号		
ロケット打上げ計画（別紙3）		
人工衛星の打上げ用ロケットの型式、機体の名称及び号機番号		
人工衛星の打上げ用ロケットに搭載される人工衛星の数並びにそれぞれの人工衛星の名称、利用の目的及び方法	人工衛星の数：	
	(名称)	(目的及び方法)
人工衛星等の打上げに係る業務を行う役員の氏名（申請者が法人の場合）		
人工衛星等の打上げに係る業務を行う使用人の氏名		
法第5条に定める欠格事由の該当有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

- 備考
- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。
  - 3 人工衛星等の打上げ及び人工衛星の管理に関する法律施行規則第5条第2項各号に掲げる書類を添付すること。

(別紙1)

人工衛星の打上げ用ロケットの設計

1 概要

主要諸元	
型式 (※1)	
機体の名称 (※2)	
段構成	
補助ブースタ等の 有無及び本数	
全長 (m)	
直径 (代表径) (m)	
全備質量 (t) (人工衛星を除く)	
誘導方式	
飛行中断措置の方法	

※1 型式とは、機体形態の別を考慮しないロケットの型式を指す名称をいう。例：H-IIA

※2 機体の名称とは、機体形態の別により異なる名称をいう。例：202型

衛星フェアリング	
名称	
全長 (m)	
外径 (m)	
質量 (t)	
主要搭載電子装置	

各段等の詳細（必要に応じ補助ロケット等※の諸元を追記すること）							
	第 段						
全長 (m)							
外径 (m)							
質量 (t)							
エンジン等の基(本)数							
エンジン等1基(本)あたり推力 (kN)							
燃焼時間 (s)							
推進薬種類							
推進薬質量 (t)							
姿勢制御方式							
主要搭載電子装置							

※ガスジェット・サイドジェット等の姿勢制御用エンジン等を含む

打上げ能力	
高度 (km)	
軌道傾斜角 (度)	
打上げ可能質量 (kg)	

## 2 ロケットシステム系統図

## 3 飛行安全管制に係る主要構成装置等

※装置等の名称、概要及び搭載段

## 4 エンジン系統図（第 段）

※1 補助ロケット、姿勢制御用エンジン等を含む。

※2 着火装置等の安全に係る機能を含む。

## 5 軌道上における不要な人工物体（以下「軌道上デブリ」という。）発生の抑制のための措置

※ロケット軌道投入段、人工衛星分離に係る装置等

(別紙2)

打上げ施設の場所、構造及び設備

1 概要

施設名称	
所在地	備考 施設が複数住所にまたがる場合は、代表地点の住所を記載すること。
打上げ施設の概要及び主要設備の配置図	
備考 1 縮尺等により距離情報を記載すること。 2 打上げ施設外との境界を明示すること。	

2 主要設備

※名称及び概要、セキュリティ対策

3 発射装置

※概要及びシステム系統図（着火装置等の安全に係るシステムを含む。）

4 飛行安全管制に係る主要構成装置等

※概要及びシステム系統図

(別紙3)

ロケット打上げ計画

- 1 保安及びセキュリティ対策
- 2 防災計画の策定等
- 3 推進薬等の取扱いに係る安全対策
- 4 落下予想区域等を考慮した飛行経路の設定
- 5 適切な落下限界線の設定
- 6 警戒区域の設定及び第三者の進入防止体制の構築
- 7 自然災害等による警報発令時の対策
- 8 航空機や船舶等への事前通報
- 9 適切な打上げ日時の設定
- 10 搭載される人工衛星を考慮した飛行能力
- 11 気象状況を踏まえた飛行成立性の確認
- 12 警戒区域解除前の第三者損害発生の防止
- 13 飛行安全管制の実施
- 14 飛行中断の実施
- 15 海上浮遊物の回収
- 16 軌道上デブリ発生の抑制
- 17 ロケット軌道投入段の保護領域からの除去
- 18 ロケット打上げ計画を実行する体制の構築